

頁	該当箇所	修正前	修正後
44	左段, 6行目	⑨奇形	⑨先天性疾患
45	左段, 16行目	ハム（Ham）試験,	（削除）
98	図Ⅲ-3-5	下記の図に差し替え	<p>■ 図Ⅲ-3-5 特別用途食品、保健機能食品（特定保健用食品＋栄養機能食品＋機能性表示食品）と許可（承認）証票 栄養機能食品は国への届け出や審査を必要としない自己認証のため許可証票はない。</p>
100	右段, 19行目	「葉酸と子供の神経管閉鎖障害」の	「葉酸と子どもの神経管閉鎖障害」「う蝕にかかる疾病リスク」の
104	右段, 最終行	マグネシウム、アルミニウムなど	マグネシウムなど
105	右段, 下から 3行目	このため、ビタミンKを多く含む納豆、ブロッコリー、クロレラなどは避けるように注意する。	このため、ワルファリンを服用している患者では、ビタミンKを多く含む納豆、ブロッコリー、クロレラなどを避けるように注意する。
263	左段, 7行目	（右記を新規追加）	▶腎症を有する症例では血圧の十分なコントロールが腎症の進行を遅らせる。
268	右段, 8行目	ワルファリン	抗凝固薬（ワルファリン）

頁	該当箇所	修正前	修正後				
269	Appendix	(右記を新規追加)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">補遺 Appendix 糖尿病性腎臓病</p> <p>■概要</p> <p>▶糖尿病性腎臓病 (diabetic kidney disease : DKD) は、アルブミン尿が増加したたんぱく尿が出現した後に腎機能が低下する典型的な糖尿病性腎症 (p.366 参照) と、アルブミン尿の増加がないにもかかわらず、糖尿病が腎機能低下に関与する非典型的な糖尿病関連腎疾患を含めた概念である。</p> <p>▶糖尿病性腎症と糖尿病性腎臓病を厳密に区別することは現段階では困難である。</p> </div>				
357	右段, 12 行目	低カルシウム血症に対してはカルシウム拮抗薬や活性型ビタミン D の副薬, 代謝性アシドーシスに対しては乳酸または重炭酸ナトリウムなどの服用が適宜行われる。	低カルシウム血症に対してはカルシウム薬や活性型ビタミン D の副用, 代謝性アシドーシスに対しては重炭酸ナトリウムの服用が適宜行われる。				
365	Appendix	急性腎不全 ■栄養食事療法 ▶急性腎不全では, 原疾患が重症であればあるほどエネルギー必要量は多くなる。	急性腎障害 ■診断 ▶急性腎障害は, ① 48 時間以内で血清クレアチニン値が 0.3 mg/dL 以上の上昇, ② 7 日以内に血清クレアチニン値が基準値の 1.5 倍以上に上昇, ③ 乏尿, 無尿 (0.5 mL/kg/時以下) が 6 時間以上持続, この①~③の一つを満たせば診断する。 ■栄養食事療法 ▶原疾患が重症であればあるほどエネルギー必要量は多くなる。				
396	右段, 下から 7 行目	さらに, そば, ピーナッツ (落花生), えび, かにはアナフィラキシーショックの原因となるため, 三大アレルゲンと併せて合計 7 品目の表示が義務づけられている (表-29-3)。そのほか 21 種の食品についても表示が推奨されている。	さらに, そば, ピーナッツ (落花生), くるみ, えび, かにはアナフィラキシーショックの原因となるため, 三大アレルゲンと併せて合計 8 品目の表示が義務づけられている (表-29-3)。そのほか 20 種の食品についても表示が推奨されている。				
397	表 V-29-3	下記の表に差し替え ■表 V-29-3 アレルギー表示を必要とする特定原材料 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">義務</td> <td>えび, かに, くるみ, 小麦, そば, 卵, 乳, 落花生</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">推奨 (任意)</td> <td>アーモンド, あわび, いか, いくら, オレンジ, カシューナッツ, キウイフルーツ, 牛肉, ごま, さけ, さば, 大豆, 鶏肉, バナナ, 豚肉, まつたけ, もも, やまいも, りんご, ゼラチン</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">(消費者庁: アレルギー表示に関する情報, 2023)</p>	義務	えび, かに, くるみ, 小麦, そば, 卵, 乳, 落花生	推奨 (任意)	アーモンド, あわび, いか, いくら, オレンジ, カシューナッツ, キウイフルーツ, 牛肉, ごま, さけ, さば, 大豆, 鶏肉, バナナ, 豚肉, まつたけ, もも, やまいも, りんご, ゼラチン	
義務	えび, かに, くるみ, 小麦, そば, 卵, 乳, 落花生						
推奨 (任意)	アーモンド, あわび, いか, いくら, オレンジ, カシューナッツ, キウイフルーツ, 牛肉, ごま, さけ, さば, 大豆, 鶏肉, バナナ, 豚肉, まつたけ, もも, やまいも, りんご, ゼラチン						
468	左段, 下から 3 行目	量として採用している。	量として採用している。腎疾患や肝不全等の基礎疾患がある場合は, 重症度に応じて 0.6 ~ 0.8 g/kg/日から開始して, BUN/Cr 比の上昇やたんぱく尿や NH ₃ 等を確認しながら増量する。				